



「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえた授業研究

都立八王子特別支援学校 平成29年度研究テーマ

「一人一人のことばの力を高める授業づくり」

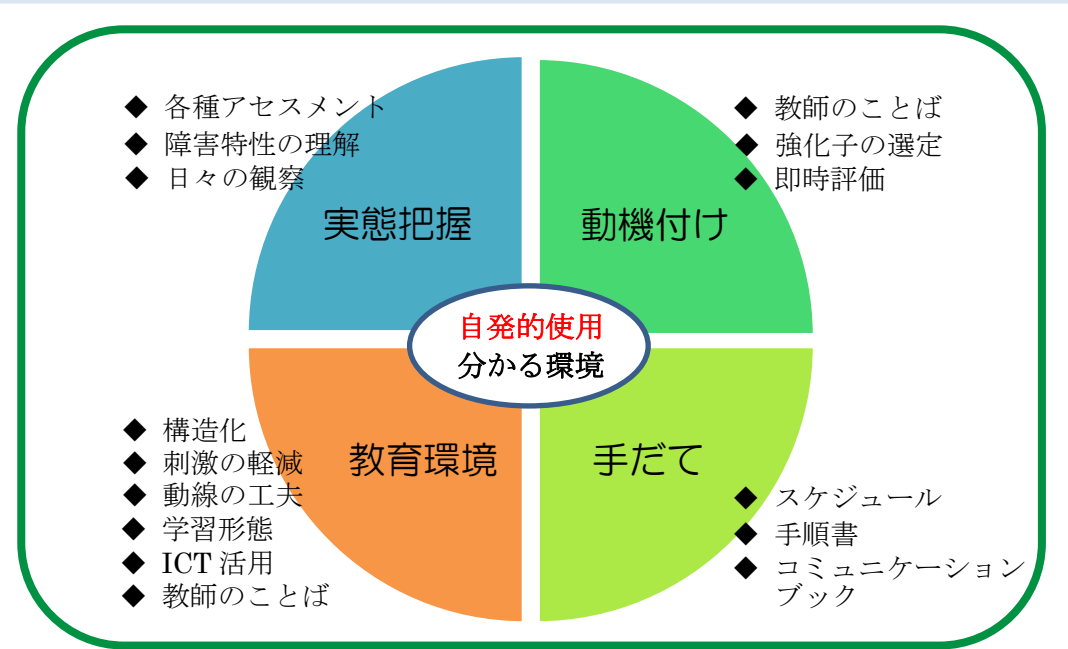
～知的障害特別支援学校における主体的・対話的で深い学びとは～

これまでの研究成果

これまでの研究活動を通して、アセスメントに基づいた根拠のある指導内容の検討や、学習活動に必要な環境や手だてについて、整理を進めました。

E B E (Evidence Based Education 根拠のある教育) の実践

できることとできないことを見極めて適切な課題を設定し、自発的な活動のある授業づくりに取り組んできました。



分かる授業のための4つのベース

上図は全校研究から導き出された分かる授業のための4つのベース（自立活動）です。今年度は全ての授業に必要な4つの要素を組込んで教科指導等に当たっています。

八王子特別支援学校の指導信条

“自分でやらなければ、できるようにならない！”

研究テーマにおける「ことば」とは

音声、非音声に限らず、絵や写真などの視覚的な情報交換やクレーンなどの顕在的な行動だけでなく、思考・判断のために頭の中で処理している言語的な内容も含んだ、広い意味で捉えています。

分かる授業のためのチェックリスト表

わかる授業のための4つのベースチェック表

J☆skap3点以下は、すべてにチェックがつく必要があります
J☆skap3点以上は、授業によっては黄色い部分のチェックはつかない場合があります。

	事前 チェック	項目
実態把握	<input type="checkbox"/>	J☆skapを取った
	<input type="checkbox"/>	言語機能アセスメントを取った
	<input type="checkbox"/>	行動観察を行った
教育環境	<input type="checkbox"/>	一目でわかるような動線、位置等の構造化を行った
	<input type="checkbox"/>	視覚的な情報を用意した(絵、写真、カード等)
	<input type="checkbox"/>	ことばの量、音量に配慮する
	<input type="checkbox"/>	聴覚的保持力に見合った言葉の使い方に気をつける
	<input type="checkbox"/>	J☆skapの点数に見合った学習形態を準備した(3点以下は静態的、3点以上は流動的)
	<input type="checkbox"/>	黒板を整理し、刺激を低減し、注目しやすいように準備した
	<input type="checkbox"/>	左から右、上から下のように情報を整理した
動機付け	<input type="checkbox"/>	流れを構造化した(ルーティン)
	<input type="checkbox"/>	センソリースペースを準備した
	<input type="checkbox"/>	興味関心、好子を把握した
手立て	<input type="checkbox"/>	即時評価を行う
	<input type="checkbox"/>	好子を評価に活用する
	<input type="checkbox"/>	個別のスケジュール、手順書を用意した
	<input type="checkbox"/>	本時のスケジュールを用意した
	<input type="checkbox"/>	個に応じたコミュニケーションの手立てを用意した
	<input type="checkbox"/>	リマインダーを準備した

分かる授業のための4つのベースを授業に落とし込むためのツールです。

J☆sKepの得点によってチェックすべき項目を明確に示しています。

チェック表は、各教科、領域を合わせた指導などの全ての授業で活用することができます。



チェックを満たすことで、児童・生徒は主体的に授業に参加し、教員や教材から自発的に情報をとり、意欲的に学べるようになります。

4つのベースは授業のスタートラインです。本校では、4つのベースを授業の土台にして教科指導を充実させています。